

先生はコンピュータを知らなくてもだいじょうぶ 子どもが自分で学んでいってくれる	中山和彦	1
スタディノートバージョン5 完成! 子どもが自力で交流の相手校探しをできる新機能	余田義彦	2
スタディノート for Windows Ver.5 試用版		3
「みんなのアドレス帳」アドレスの正しい登録のしかた		4
スタディ夏期研修会のお知らせ		5
内地留学生便り 信州大学で学んだこと		6
メーリングリストから つくば市立竹園東小学校 吉田浩先生		8
こんな本が出ました!		8
シャープシステムプロダクト(株)がスタディノートのC/Sライセンス契約を設けました		8

先生はコンピュータを知らなくてもだいじょうぶ 子どもが自分で学んでいってくれる

中山 和彦

最近、小学校でのコンピュータ使用に関して、「えっ」と驚くような話を何人かの人から聞いた。一番驚いたのは、「ある学校で、非常に熱心な先生がいて、大変な努力をしてスタディノートを導入した。先生は大喜びで、自分のクラスの子どもに使わせようと準備をしていた。ところが、いざやろうと計画していた日の直前に教頭に呼ばれ、『貴方のクラスだけコンピュータを使うと、他の2学級の先生はコンピュータを使えないので困るから使ってはいけない』と使用禁止令が出された。『他の2学級の児童には、授業交代をして自分が教えるから』と言うと、『貴方の学年だけができて、他の学年ができないから駄目だ』ということで、半年以上たってもコンピュータは全然動いていない」という話であった。その話を聞いていた他の人も、何人かが「私の地域でもありました。『コンピュータを使うより、教室でしっかりと基礎・基本を教える』といじめられた先生がいます」という話をしてくれた。

竹園東小学校で10数年前にC A I 学習に取り組み、今は殆どの方が教頭・校長になっている先生方の旧交を温める会のときにこの話しをした。すると、「校長や教頭がコンピュータを使わず、使えない先生から訴えがあったらそうするだろうな」というのが結論であった。そして、「そういう学校が結構多いのではないか」とのことであった。

びっくりである。新学習指導要領では「個性」育成が主目的の一つとなっている。また、「学校として

の特色」をだすことが求められている。子どもに個性を求めるのであれば、まず先生が個性を持っているなければならない。全クラスを同じ教え方で教え、全員が同じ結果を出すことは求められていないし、むしろ排されている。そうであるならば、各教員が自分の特色をだして子どもに学習をさせることは、学校での望ましい教育のあり方ではないかと思う。

このような問題の起こる原因の一つは、先生は教える立場であり、子どもよりよく知っていなければならないと信じている先生が多いことにあると思う。新しい学習指導要領では、先生の立場は教えることではなく、子どもの主体的学習を支援する立場であることが求められている。教えるという立場から、学ぶのを支援する立場、共に学習していく仲間というように立場を変化すれば、考え方も当然変わってくる筈である。

自分がコンピュータを使えなければ、子どもと一緒に学習する、子どもに教えてもらうという立場に立てば、使えないから使わないということは無くなる筈である。スタディノートの例では、低学年でも、最初の1時間だけ使い方を教えれば、後は自分たちで新しい使い方を見出したりしているいろいろなことをやってくれる。先生は何もする必要はない。私は、コンピュータをよく知っている先生よりも、知らない先生が子どもと一緒に学んでいく方が、子どもにとってよい学習ができるのではないかと思っている。

(21世紀教育研究所 所長)

スタディノート
バージョン5
完成！

子どもが自力で交流の相手校探しをできる新機能

余田 義彦（筑波女子大学）

スタディノート Ver.5 がリリースされました。

今回のバージョンアップでは、新しい機能の追加に加え、熱心にご活用いただいている先生方の声に耳を傾け、細部の使い勝手の向上に多くの力を注ぎました。そのため、改良された部分を列挙していきますと、それだけで何ページにもなります。そこで今回は、特に重要と思われる「みんなのアドレス帳の学校間共有」の機能に焦点を絞り、その意義と利用方法を紹介したいと思います。

1. 交流学习における相手校探しの難しさ

インターネットを使って他の学校との間で交流学习を始めようとする場合、最大のネックになるのが相手校探しです。隣の学校であれば、互いに様子がわかっていますので、すぐに電話で連絡をとりあって始めることができます。しかし、遠く離れた地域で探そうとすると、いろいろと苦労することになります。

スタディノート Ver.5 では、その問題を解決するため、「みんなのアドレス帳の学校間共有」という機能を用意しました。この機能の仕組みと上手な使い方について紹介します。学校間交流を計画中の皆さんは、この機能をぜひご活用下さい。

2. 「みんなのアドレス帳の学校間共有」とは？

スタディノートには、Ver.4 のときから「みんなのアドレス帳」という機能が用意されてきました。“yoden@kasei.ac.jp”などというように、キーボードでアドレスをいちいちタイプしなくても、一覧画面で送信先を選んでメールを送信できる機能です。

この「みんなのアドレス帳」では、地図で地方を指定して送信先を選んだり（図1）、職業別電話帳のように調べたい情報を指定してその情報を提供してくれる送信先を選ぶこともできます（図2）。



図1. 「みんなのアドレス帳」の地方を指定して送信先を選べる画面

Ver.5では、その機能を発展させ、次のようなことができるようにしました。

北海道のA小学校の先生が、「みんなのアドレス帳」を開き、自分の学校の子供たちはどのような情報を他の学校の子供たちへ提供できるか、入力したとします。する

と、その情報が東京のB小学校や京都のC小学校、沖縄のD小学校のスタディノートにも自動で転送され、それぞれの学校の「みんなのアドレス帳」の内容に追加・更新されるのです。

この機能は、「みんなのアドレス帳」に登録される情報を、全国の学校で共有し、共同で管理していく仕組みですので、「みんなのアドレス帳の学校間共有」と名付けました。

それぞれの学校が、自分の学校で提供できる情報の紹介をしっかりと行っただけで、学校間交流に役立つ「みんなのアドレス帳」を作り上げることができるのです。

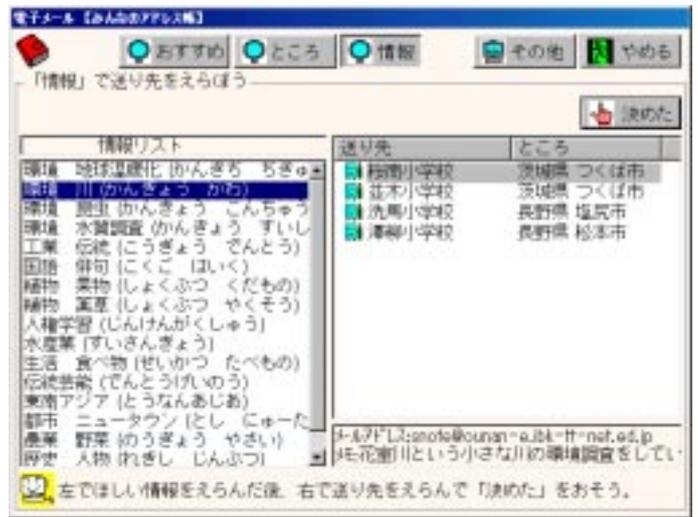


図2. 「みんなのアドレス帳」の情報を指定して送信先を選べる画面

3. 「みんなのアドレス帳の学校間共有」の開始方法

「みんなのアドレス帳の学校間共有」を開始するには、次の操作を一度だけ行って下さい。

先生用のスタディノートを使い、先生の名前で利用を開始します。そのとき、必ずパスワードを設定して下さい。パスワードを設定していないと、この後の操作ができません。

パスワードを設定するには、起動画面で「始めよう」を選んで、学年、組と番号を入力した後に現れる「あなたは.....さんです」という確認画面でCtrlキーを押しながら「はい」ボタンをクリックします。

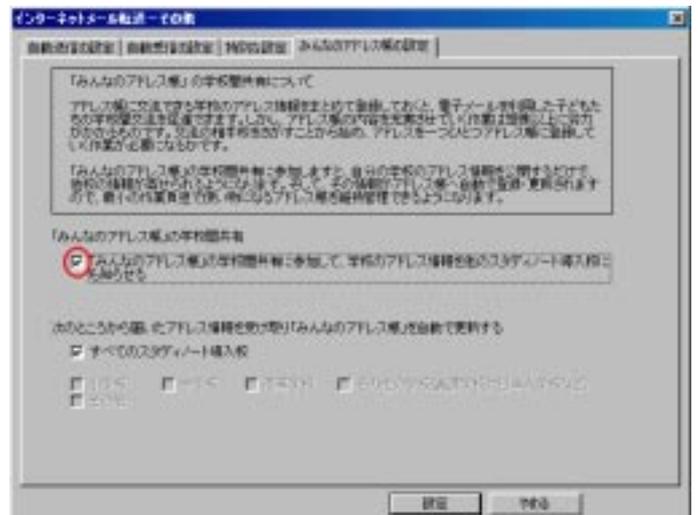


図3. 「みんなのアドレス帳の学校間共有」の設定画面

メインメニューの上の部分に表示される「先生メニュー」で「インターネット・メール転送」を選びます。

「インターネット・メール転送」の画面が表示されたら、[その他]を選びます。そして、最初に表示される画面で「みんなのアドレス帳の学校間共有」というところの をマウスでクリックし、チェックを入れます(図3)

以上の設定を終えると、「みんなのアドレス帳」に他の学校のアドレス情報が少しずつ届き始めます。そして、約2ヶ月で「みんなのアドレス帳の学校間共有」の設定をしている全ての学校のアドレス情報が届きます。

4. 自分の学校のアドレス情報の登録・更新のしかた

3の設定を終えたら、次に述べる操作で、自分の学校の情報を他の学校へ送ってみましょう。この操作も先生だけが行います。

先生の名前でスタディノートの利用を開始します。

メインメニューで「電子メール」を選びます。

「その他」ボタンを選び、「アドレス帳」ボタンをクリックします。

アドレスの一覧で一番上に自分の学校があることを確認して下さい。

「書きかえる」ボタンが押されていることを確認し、一覧で自分の学校を選び、「決めた」ボタンをクリックします。

自分の学校のアドレス情報の登録画面が表示されます。次で説明する「情報やメモの上手な選び方」を参考にして、情報とメモを入力します(図4)

最後に「決めた」ボタンをクリックします。「送り先(自分の学校の名前)の内容を書きかえました」という画面が表示されれば成功です。

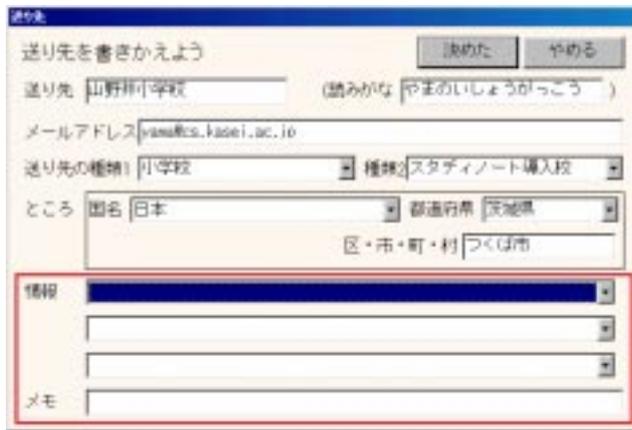


図4. アドレス情報の設定画面

以上の操作で、書きかえた情報は、自動的に他の学校の「みんなのアドレス帳」へも転送され、追加・更新されます。この操作は、繰り返して何度でも行うことが出来ます。授業で扱う内容に合わせて、毎月のように更新してもかまいません。

「みんなのアドレス帳」では、他の学校の情報やメモも書き換えることができます。しかし、その更新内容は他の学校へは配信されません。他の学校へ配信されるのは、自分の学校についての情報だけです。

5. 情報やメモの上手な選び方

「みんなのアドレス帳」を使った相手校探しで重要になるのは、情報とメモの欄の内容です。例えば、情報として「総合的な学習」という言葉を入れたとします。これでは内容が漠然とし過ぎていて、どのような学習に取り組んでいる学校

なのか、またどのような情報をやりとりできる学校なのか、具体的なことがさっぱりわかりません。それでは、「山野井祭り」という言葉は情報としてどうでしょう。全国の学校が同じようにローカルな言葉を入れ始めたら、該当する学校が一枚しかない言葉が情報の欄に並んでしまい、使い勝手が極端に悪くなります。

情報の欄に言葉を入れる場合、利用者の立場に立って適切なものを選ぶことが重要です。その利用者としては子どもを想定し、子どもたちが自力で相手校を探せる環境を実現できればと私たちは考えています。

まず、自分の学校の子どもたちが、他の学校の子どもたちに対して、どのような情報を提供できそうか考えてみて下さい。そして、以下のガイドラインを参考にして、情報とメモに入れる言葉と文章を決めて下さい。

【情報の欄とメモに入れる言葉選びのガイドライン】

情報の欄には言葉(名詞)を、メモの欄には言葉や文章を入れましょう。

小学校高学年以上に利用させることを想定し、言葉や文章は小学校高学年に理解できるものを選びましょう。

他の地域の子どもでも理解できる言葉や文章を選びましょう。

地名、人名、組織名、施設名、行事名などの固有名詞を情報の欄に入れてはいけません。入れたいときはメモの欄に入れましょう。

情報の欄に入れる言葉は「環境学習 池」というように、大分類、小分類の二階層に分けた表現で記述しましょう。

情報の一覧は、読みがなであいうえお順に並ぶので、このようにすると類似の情報が集まるようになり探しやすくなるからです。

授業での利用を想定して、できるだけ教科書に出てくる言葉を使いましょう。

他校と情報交換したいことがらを選びましょう。

情報の欄に言葉を入れるときは、まず類似の言葉が既に登録されていないか確認しましょう。そして、登録されている場合はそれを選ぶようにし、そうでない場合にだけ、新しい言葉を入れましょう。

スタディノート for Windows Ver.5 試用版

この度、21世紀教育研究所では、スタディノート for windows Ver.5をより多くの先生方に体験していただくために、試用版CD-ROMを作成いたしました。ご希望の方へ無償で配付いたします。内容、お申込み方法は次の通りです。

【内容】・スタディノート for Windows Ver.5

機能は製品と同等。使用期限：2001年3月31日

- ・インストールマニュアルおよび操作マニュアル
- ・研修会用資料等(余田先生ご提供)

【お申込み方法】 スタディノート試用版希望と明記し、郵便番号、住所、学校名、氏名、電話番号、メールアドレス(持っている方)をご記入の上、下記へメールまたはfaxでお申し込み下さい。

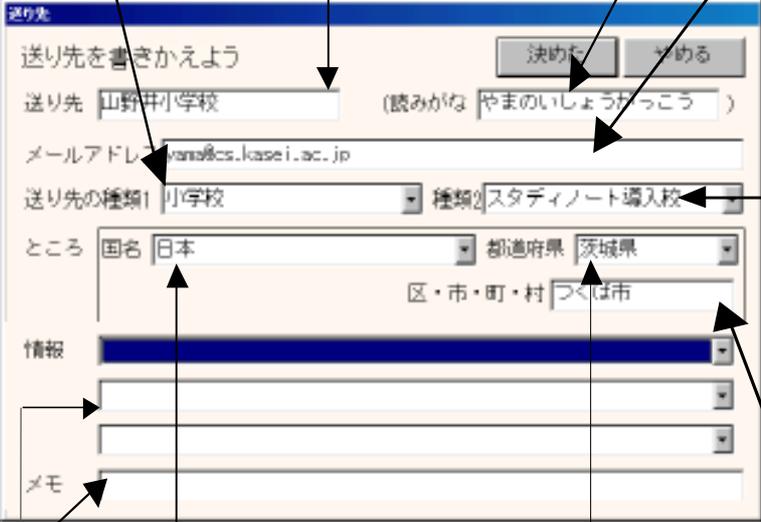
宛先：シャープシステムプロダクト株式会社
スタディノート試用版係

e-mail study@ssp.osa.sharp.co.jp

fax 06-6624-0764

お問い合わせ：TEL 06-6625-3233

『みんなのアドレス帳』アドレスの正しい登録のしかた



学校名を入れます
注意
「市立」といった設置者名は加えないで下さい。
山野井小学校 × 余田市立山野井小学校

学校名のよみがなを入れます
読みがな やまのいしょうけいこう

メールアドレスを入れます
注意
半角英数字で入力して下さい。
yana@cs.kasei.ac.jp

校種を選びます
送り先の種類1 小学校 種類2 **スタディノート導入校**

「スタディノート導入校」を選びます
注意
「一般の日本語メール利用者」は、スタディノートを使用していない国内の学校や組織、個人などのアドレスを登録するときを選びます。この設定しておかないと、相手側でスタディノートからのメールを表示できません。
「外国のメール利用者」は、日本語を表示して読むことができない海外の交流先のアドレスを登録したいときを選びます。

所在地の国名を選びます
注意
日本人学校の場合はその所在地の国を選んで下さい。それ以外は日本になります。

日本の場合だけ都道府県を選びます
都道府県 茨城県

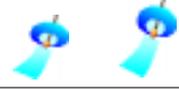
区・市・町・村名を入れます
注意
町や村の場合、郡の名前は絶対に入力しないで下さい。アドレス帳の表示領域が限られているため、ここに郡まで入れると町や村の名前が表示されなくなるからです。
外国の場合も入力して下さい。外国の都市名は、中国以外は半角カタカナで入力します。

メモを入れます
注意
自分の学校を紹介する短い文章を入れておきます。子どもが読むことを想定して文章を入れて下さい。

他の学校に提供できる情報や他とやりとりしたい情報を入れます(最大三つ)
注意
この情報は、メモとともに子どもに自力で相手校探しをさせるために使用します。他校に提供できる情報、他校とやりとりしたい情報などを入れるようにして下さい。まず、リストを表示し、該当する言葉がある場合は、それを選びます。それが無い場合は、「新しい情報」を選んで入力します。子どもに理解できる言葉を選ぶようにして下さい。教科書の目次や単元名、索引に出てくる言葉を入れておくと、多くの学校で喜ばれます。また、保護者の多くが従事している産業の名前を入れておくことも、他校との交流で役立つでしょう。学校の重点教育目標であっても、抽象的過ぎるものや、他校と交流するつもりがないものは不適切です。それから、一般的過ぎる(広すぎる)言葉や、その地域の人しか知らない言葉(固有名詞)も不適切です。



スタディ夏期研修会のお知らせ



東日本コンピュータ教育利用夏期研修会 (矢板研)

主催 21世紀教育研究所 所長 中山和彦
 日時 平成12年8月21日(月)13:00～
 平成12年8月22日(火)15:00
 会場 シャープ株式会社人材開発センター 矢板研修所
 栃木県矢板市早川町174 0287-43-1131
 対象 小・中学校の教職員、教育委員会の方
 スタディ初心者
 定員 50名
 内容 「総合的な学習の時間」の中で、校内LANやインターネットを活用した課題解決学習の方法
 「基礎基本の確実な定着」の実現と
 コンピュータ活用
 参加費 13,000円
 (宿泊費、食事、テキスト、資料代を含む)
 申込方法 参加申込書に必要事項を記入し、郵送または
 FAXで申し込んで下さい。定員になり次第締切。
 参加申込書の請求、問い合わせおよび参加申込書の宛先
 東日本コンピュータ教育利用夏期研修会事務局 担当 宮原
 〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町8
 シャープシステムプロダクト株式会社 文教営業部内
 03-3267-4656 Fax03-3267-4676

西日本コンピュータ教育利用夏期研修会 (天理研)

主催 コンピュータ教育利用研究会 代表幹事 阪林良弘
 21世紀教育研究所 所長 中山和彦
 日時 平成12年8月24日(木)10:00～
 平成12年8月26日(土)15:00
 会場 シャープ株式会社人材開発センター 天理研修所
 奈良県天理市樺本町2613-1 0743-65-1321
 対象 小・中学校の教職員、教育委員会の方
 定員 40名
 内容 C A I教材の活用：
 よいコースウェアの体験と授業での活用方法
 スタディノートの活用：
 電子メール、電子掲示板、共有データベースの活用研究
 参加費 25,000円
 (宿泊費、食事、テキスト、資料代を含む)
 申込方法 参加申込書に必要事項を記入し、郵送または
 FAXで申し込んで下さい。定員になり次第締切。
 参加申込書の請求、問い合わせおよび参加申込書の宛先
 西日本コンピュータ教育利用夏期研修会事務局 担当 石部
 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22-22
 シャープシステムプロダクト株式会社 文教営業部内
 06-6625-3233 Fax06-6624-0764

スタディ地域研修会一覧表

全国各地でたくさんのスタディ研修会が開催されます！

研修会名	開催日	主催者	他地域からの参加	連絡先 / TEL	定員
十勝教育コンピュータ利用研修会(仮)	8月1日(火)～8月2日(水)	十勝教育コンピュータ研究会	可	大樹町立中島小学校 岩野教頭 01558-7-7073	40
空知メディア夏季研修会	8月17日(木)	空知教育工学研究会	可	赤平市立赤平中央中学校 不藤教頭 0125-32-3339	40
九十九里地方教育センター夏期研修会	7月28日(金)	九十九里地方教育センター	不可		30
美浦村夏季研修会	8月3日(木)～8月4日(金)	美浦村教育委員会	不可		40
館林市夏季研修会	8月24日(木)～8月25日(金)	館林市教育委員会	不可		40
取手市C A I研修会	8月24日(木)～8月25日(金)	取手市教育委員会	不可		40
習志野市夏期研修会	8月25日(金)	習志野市教育センター	不可		20
大和市研修会	8月25日(金)	大和市教育委員会	不可		30
塩筑合同スタディノート研修会	8月1日(火)～8月2日(水)	松本C A L研究会	不可		40
教育用コンピュータリーダー研修会	8月29日(火)～8月30日(水)	東海市情報教育研究部	不可		20
神戸市夏期研修会	7月25日(火)	神戸市教育委員会	不可		
和歌山市夏期研修会	8月7日(月)～8月8日(火)	和歌山市教育委員会	不可		20
鳥取県夏季コンピュータ研修会	8月10日(木)	鳥取県小学校教育研究会 情報教育部会(予定)	余裕があれば受付可	鳥取県教育研修センター 情報教育課 谷口淳 0857-28-2323	40
坂戸市パソコン実技研修会	8月3日(水)～8月4日(木)	坂戸市立教育センター	受付終了	坂戸市立教育センター 小峰千春 0492-81-2736	22
滑川市コンピュータソフト利用研修会	8月11日(金)	滑川市小中教育機器利用研究会	可	滑川市立西部小学校 水橋涉 076-475-0498	40
豊田市メディアコーディネータ研修会	7月下旬	豊田市教育研究会学習情報部	可	豊田市立若園小学校 近藤憲司 0565-52-3717	40
瀬戸市コンピュータ授業活用研修会	8月7日(月)	瀬戸市コンピュータ推進委員会	不可		40
福井市スタディノートワークショップ	8月8日(火)	福井県教育工学学会	不可		40

スタディ研修会を開催される地域はECONewsまでお知らせ下さい。

内地留学生便り

信州大学で学んだこと 2000.5

信州大学教育学部附属教育実践総合センターに今年も多くの仲間が集まってきました。下に示したのはその一覧です。いずれも東原義訓先生を慕って集まった仲間です。

大学で同じ課題に取り組んでいる学生が、実は自分の娘と年代であることが先日の歓迎会でわかりました。娘と机を並べて勉強をしているようで、ある意味ではとてもいい刺激になっています。かつては長野県や滑川市、坂戸市の現職教員が筑波大学に内地留学していましたが、今はこの信州大学で学ぶようになりました。まるで昔の筑波大学の学術情報処理センターが長野市に移ってきたみたいですね。この教育工学研究室のメンバーは、それぞれの個性、持ち味を發揮しながら、東原先生の「目指せ、メディアコーディネーターへの道」を合い言葉に、研修に励んでいます。ここでは、私たち内留生が大学生や大学の授業に触れて、現職教員もこんな内容の校内研修を受けられたら有り難いと感じた内容を紹介します。

大学生が夢中になったコースウェア

《プロローグ》

教育現場にたずさわる内地留学生の私たちにとって、大学生に対する見方、考え方を換えさせられることがありました。今の学生が、幅広く力をつけて大学を卒業し、現場に出てくることを実感させられ、頼もしく思われたのでした。次にお知らせするのは、そのことの一部です。

《集中講義》

信州大学では教育学部2年生を対象として「コンピュータ利用教育」の集中講義が開催されています。5月13日(土)に行われた言語教育専攻(国語、英語、国際理解)の学生を対象とした講義の内容を紹介します。

講師は信州大学内地留学生OBの丸山福一先生です。先生から、首相官邸のホームページから「教育の情報化」が引用され、これからの学校が変わっていく方向が示されました。また、新学習指導要領の内容から、学校における情報教育の方向も説明されました。そして、長野県教育委員会の指針から次の3つの柱が示され、今回の講義のポイントもそこにおくことを強調されました。

- 柱1 基礎基本の定着「伸びる力の育成」
 - 柱2 個性や地域環境を生かす「特色ある教育課程」
 - 柱3 共に生きる喜びや感動が生まれる「楽しい授業」
- この柱に沿って講義が展開されました。

1 コースウェア体験

「個々の実態に応じた指導をするためにコンピュータをどのように使っていくか。」という課題が提示され、コースウェアを学生たちが体験することになりました。ボタンを押した学生たちの画面が変わると同時に、教室中が「ワッ」という歓声に包まれました。自分の名前が表示されたからです。名簿登録を事前においたためでした。まず、大学生の新鮮な初発の感動を見て、小学生にも通じるところがあるなと感じました。

最初に学生が体験したコースウェアは、「倍数と公倍数」でした。学生たちが実に夢中になってコースに挑戦し、終了した学生の顔から満足げな笑顔が見られたのが印象的でした。「そろそろ終わりにしよう」という先生の声とともに「さようなら」の文字が画面に表示されたとき、学生たちの名残惜しそうな落胆の音が教室を包みました。ここで、先生がメモ帳に書かれた学生の初発の感想を取り上げ、教師がどんなことに注目して授業を進めるかについて説明されました。下に示したのは感想の抜粋です。

- 「これって先生要らないんじゃない」
- 「いや、いるいる」
- 「僕、わざと間違えてみたんだ」
- 「かわいい」「すごい」「なるほど」

こういった感想から、学生がこのコースウェアに興味と関心を持ったこと、さらに、中には子どもになりきって夢中になった学生がいることなどを紹介されました。学生たちは画面を見つめ、

佐藤 秀樹 (長野県北安曇郡松川村立松川小学校)1年間内留
 宇佐美昌博 (長野県下水内郡栄村立東部小学校) 1年間内留
 澤崎 義隆 (富山県滑川市立早月中学校) 3ヶ月内留
 楠 康司 (富山県滑川市立南部小学校) 3ヶ月内留
 五十嵐啓一 (教育工学の大学院1年生)
 榊原 研太 (理科教育の大学4年生)
 国分 麻紀 (コンピュータ利用教育学修分野の大学2年生)
 木村あゆみ (コンピュータ利用教育学修分野の大学2年生)
 * 7月末から、坂戸市の短期研修の3名が増えます。

信州大学
CERT

自分のペースに合わせて次々と課題にチャレンジしていました。右のような終了後の感想から、C A I の効果を実感していることがわかりました。言葉を換えると、「学習にのせられてしまった」という表現がぴったりです。また「間違えたときどうすればよいのかのヒントが欲しい」などの建設的な発言もあり、学生たちは自分が子どもになる、教師になるといった模擬体験を通して、このコースウェアの有効性を感じ取ったようでした。

2 マルチメディアコースウェア体験

「イナダの解剖」のコースウェアの体験、それを活用した授業実践のビデオの視聴などを通して、学生たちは、実に素直で率直な感想を発言していました。「もしコンピュータがなかったら従来のように子どもを一箇所に集めて説明することになるが、コースウェアを使うと解説を見ながら実験が進められる」「学習の進み具合を班員がお互いに確かめ合いながら実験できる」といった発言から、繰り返し解説を見直すことのできる学習環境の意味、自主的な学習の意義を実感していたようでした。

- ・進度の差が出てきたときにも個人に応じて学習できる。
- ・不正解のときにヒントが出るので迷って自信がなくなることはない。
- ・アニメーションは数学でのイメージ化ができる。
- ・問題がステップを踏んでできているので、深く考えていくことができる。

《エピローグ》

この講義を通して、学生たちはコースウェアの体験を通して、スタディシリーズの活用によって生まれる、子どもの「学習の達成感」「友達との教え合い」「スモールステップの効果」、教師の「子どもを見る観点」「いかに教材を活用するか」「いかに子どもに<できる>実感を味わわせるか」などの多くの活用効果を体験したようでした。この経験が、きっと実際の現場での子どもとの接し方、教材の提示や活用、子どもをとらえる視点の育成に役立つと思います。教師になってからも、今のよう素直な感性を持ち続けて欲しいと思います。

(澤崎 義隆)

.....

学生たちの手によって

新学習指導要領に対応したリンク集が誕生！

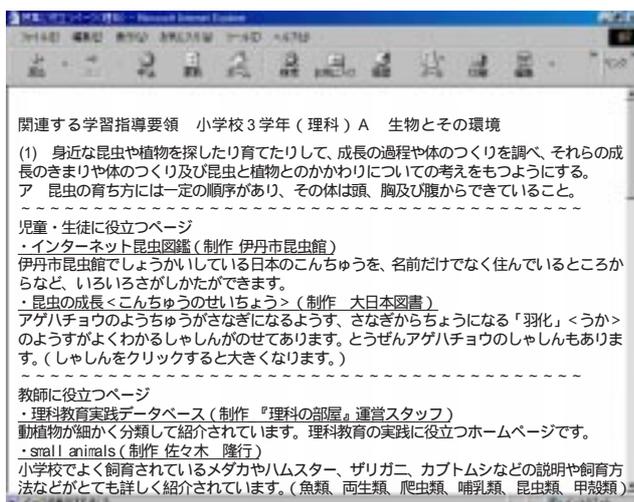
<http://cert.shinshu-u.ac.jp/cl/link/index-j.html>

5月から内地留学に来ていて、その中で「この授業はすごい」と思わずうなってしまったことがあります。それは、理科専攻の学部2年生が授業の中でWebのリンク集を作っていることです。ここでは、小・中学校理科における各学年の領域を全員が分担しています。それぞれの領域について、「児童・生徒に役立つホームページ」と「教師に役立つホームページ」が多く集められています。しかも、文部省の学習指導要領を引用し、どの内容に対応しているのかが一目でわかるようになっています。今後は、学習指導要領の部分をクリックすればリンク先へ行くように設定されるようです。「児童・生徒に役立つホームページ」では、動画のあるクイズやシミュレーションなどのページにリンクが張られています。「教師に役立つホームページ」では、すぐに教材研究として使えるものや指導案などのページにリンクが張られています。理科の学生たちができるだけ多くのホームページに目を通しただけあって、授業でさっそく使ってみたいページがたくさんありました。このようなリンク集を作ることは、次の点で素晴らしいと考えます。

- 1 共同でひとつのものを作り上げることにより、大きな喜びや達成感を味わうことができる。
- 2 教材研究を真剣にすることにより、学生気分から教師になろうとする自覚がもてる。
- 3 人のために役立つ情報を発信することにより、ボランティアの精神が培われる。

個人的には、「保護者に役立つホームページ」というものもリンクされていくとよいと思いました。人に役立つものを作るという基本コンセプトのもと、次の学年からも、毎年使えなくなったリンクを外し、新しいリンクを追加していくという作業がされるようです。このような授業は今までに見たことも聞いたこともありませんでした。理科の授業で制作されているリンク集が、他の教科に発展していき、統合されていけばどうなるでしょうか。きっと、どこよりも人の役に立つものができるに違いありません。授業で初めてホームページを作成するときの課題といえば、自己紹介などが思い浮かびます。けれども、この授業では学生たちが団結し、奉仕の精神で人に役立つ情報を発信することができました。課題の与え方ひとつでここまでできることがよくわかりました。そう考えるだけでなんだか楽しくわくわくしてきました。我々現場の教師も負けてはいられません。学生たちの素晴らしい作品を見て、千年紀を生き抜く日本の教育の夢が実現されるのではないかと強く感じました。

(楠 康司)



スタディノートメーリングリストから

ECONews No.66 「インターネットの小学校での利用(3)」(中山和彦)を読んで

つくば市立竹園東小学校 吉田 浩先生

実を言うと、私も中山先生と同じことを思っていました。各小学校(自分の学校もそうですが)のホームページは、何か学校要覧みたいでつまらないと思っていました。これを、子供の視点から小学校のホームページがつかれないかどうか考え、竹園東小学校では委員会活動に「ネットワーク委員会」という委員会をつくりました。今、委員の児童一人ひとりが、どんなホームページがいいか考え、話し合っているところです。1年間かけて、子供達が創り上げるホームページに変えていこうと思っています。

私のクラスも今年は、係活動にホームページ係をつくり、今、クラスのホームページをスタディノートで一生懸命つくっています。また、子供達の日頃の学習での気づきや発見、疑問などもどんどん発信していきたいと考えています。

竹園東小学校

<http://www.takezono-e-e.ibk-tt-net.ed.jp>



こんな本が出ました！

『教師と学校のインターネット』

- 情報教育のカリキュラム作成 - 考え方と事例 - 』

監修 永野和男 著 堀田龍也ほか オデッセウス ¥1600

余田先生によるスタディノート開発秘話、つくば市立並木小学校の「総合的な学習」の実践をはじめ、情報教育実践校の紹介、校内LANの活用法から教師の著作権法入門まで、今、情報教育について知りたいノウハウがぎっしりつまったおススメの一冊です。

『教師のための初歩のパソコン 6月号』

エクシードプレス ¥1800

メーカーインタビュー「学校へ」の特集に、シャープシステムプロダクト 前田部長のインタビューが掲載されました。スタディシリーズの取り組みがよくわかる興味深いインタビューです。(書店にない場合はバックナンバーで取り寄せ可能)

『NEW教育とコンピュータ 7月号』

学習研究社 ¥1300

特集「デジタルポートフォリオのすすめ」で、余田先生と吉田先生(つくば市立竹園東小学校)が執筆されています。『ふだんの授業の記録をデジカメで撮影して、それに自己評価のコメントを文章で入れさせるようにするだけでも、スタディノートを使った授業実践になり、そしてそれはとても意味がある活動なのだということを理解してもらえれば・・・(スタディノートメーリングリスト 余田先生より)

シャープシステムプロダクト(株)が スタディノートのC/Sライセンス契約を設けました

スタディノートを学校等に導入する際のライセンス契約が、今までのスクールライセンス契約に加えて、C/Sライセンス契約が設定されました。

これまでのスクールライセンス契約は、サーバ、先生用コンピュータ、児童・生徒用コンピュータのすべてを含む契約で、児童・生徒用コンピュータの台数に関わらず、700,000円という価格設定になっていました。

2000年6月から、そのスクールライセンス契約に加えて、C/Sライセンスおよびクライアントライセンス契約が設定されました。C/Sライセンス契約は、サーバと先生用コンピュータのみの使用を認める契約です。端末については、別に台数に応じたクライアントライセンス契約を結ぶこととなります。このため、学校のコンピュータの台数に応じた契約を結ぶことができるので、台数が少ない学校では、より安くスタディノートを導入することができるようになりました。詳細はシャープシステムプロダクト(株)文教営業部までお問い合わせ下さい。

06-6625-3233 study@ssp.osa.sharp.co.jp

【端末コンピュータの台数とその契約例】

端末コンピュータの台数の例	C/Sライセンス(サーバ1台、先生用コンピュータ1台)	クライアントライセンス契約	スクールライセンス契約	合計
1台	1 200,000円	1 15,000円	-	215,000円
6台	1 200,000円	6 90,000円	-	290,000円
10台	1 200,000円	10 150,000円	-	350,000円
30台	1 200,000円	30 450,000円	-	650,000円
35台	-	-	1 700,000円	700,000円



ECONews 郵送会員登録 受け付けています

ECONewsは、21世紀教育研究所のホームページをご覧になるか、または郵送で受け取ることができます。郵送会員には、年会費1000円で、年6回発行のECONewsとECONews教材、スタディシリーズ試用版CDなどを無償で配付いたします。くわしくは、下記の「21世紀教育研究所」までご連絡ください。

遅れ馳せながら、今号より新年度第一号です。新しく環境の変わった先生方、もう慣れてきたころでしょうか。

どうぞ今年度もよろしくお願ひいたします。

21世紀教育研究所

〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-33-6

Tel ☎0298-50-3321 ☎ ☐ ☐ ☐ Fax ☎0298-50-3330

e-mail econews@green.ocn.ne.jp

URL <http://www.eri21-unet.ocn.ne.jp/>